

ちくしのクリップ



問 秘書広報課

9/17

まだまだ100歳も通過点

百歳のお祝いに市長が訪問

敬老の日にあたり、記念すべき100歳のお祝いに平井市長が大隈 タミさんを訪問し、記念品などを贈呈しました。長寿の秘訣について聞くと大隈さんは「よく食べることです」と元気に教えてくれました。

今年度は市内で43人が百歳を迎え、市内には百歳以上の人が100人となります。(7月末時点)



「次の目標は110歳です」と話してくれた大隈さん(右)

9/6

4年に1度の国際大会で
好成績

新極真会筑紫道場が市長を表敬

市内で活動する新極真会筑紫道場の選手たちが、7月に東京で開催されたカラテドリームフェスティバル2024国際大会で入賞を果たし、平井市長へ報告を行いました。学年男子軽量級で準優勝した宇田川 春稀さんは懇談の中で、「けがで思うように練習ができない時期がありましたが、その間もできる練習を集中して行い、大会に臨みました」と話をしていました。



「腕の骨折にもめげずに練習しました」と話す宇田川さん(左)

9/20

毎日のちょっとした変化に

9月20日はバスの日

日本で初めてバスが走った日にちなんで、公益社団法人日本バス協会は毎年9月20日をバスの日と定めています。より多くの人にバスを利用してもらい、公共交通手段として存続させていくため、JR二日市駅で街頭啓発を行いました。バスに揺られ、流れる景色を楽しんで。通勤や日々の生活のちょっとした変化に、たまにはバスを利用してみてはいかがでしょうか。



つくしちゃんも啓発を行いました

9/14

学校に響く、恐怖の叫び

おばけやしきin筑紫東小学校

夜の筑紫東小学校を使ったおばけやしきが開催されました。このイベントはおやじの会(小東参の会)や教職員、卒業生などの有志が企画・運営とおばけ役を行ったもの。児童や保護者500人以上が参加し、悲鳴を上げながら肝試しをしました。参加した6年生の鹿野川 璃空さんは「楽しかったです。来年は卒業生としておばけ役で参加したいです」と話してくれました。



いつもの学校が恐怖に染まります

9/22

大人も子どもも、防災を

二日市東コミュニティ「防災キャンプ」

二日市東コミュニティ運営協議会主催「防災キャンプ」が二日市東小学校で開催されました。日本赤十字社による傷の手当て講座や、地域の防災士によるクイズ、非常食を中心とした食事など、大人も子どもも防災の意識を高める2日間となりました。「ぜひ家族で話し合っ」と災害時の行動を整理する「マイ・タイムライン」も配布。地域が一丸となって防災力を高めています。



バンダナを使って傷の応急処置

9/29

水しぶきあげ勝利をめざす

第27回宝満川カヌー大会in美咲

宝満川の河川敷で、第27回宝満川カヌー大会in美咲が開催され、選手や観客など約1,000人が参加しました。競技種目は1人乗りタイムレースや3人乗り旗取りレース、5人乗り地区対抗レースの3種目。5人乗り地区対抗レースで優勝したチーム「T T SPRINT」の今村 星斗さんは「チームで呼吸や力をうまく合わせることができました」と話してくれました。



5人で漕ぐカヌーは迫力満点

9/20

きつい練習も

「気のせい」でふきとばす

空手道の世界大会で優勝

8月に東京で開催された第3回世界硬式空手道選手権大会、女子12歳～13歳無差別クラスにおいて、二日市中学校2年生の福井 花虹空さんが優勝を果たし、市長へ報告を行いました。懇談の中で、上段蹴りも披露した福井さん。「練習がきついときは、気のせいだ、と思って乗り越えました」と強くなるための気の持ちようについて話してくれました。



「優勝してとてもうれしかったです」と話す福井さん(左)

9/22

お待たせ、御笠の実り

御笠まちづくり協議会「新米フェア」

例年は屋外で開催される「新米フェア」。今年はあいにくの雨で、御笠コミュニティセンター内での販売に。それでも、新米を楽しみにした人が行列をつくり、予定より時間を早めて販売を開始しました。一時は米を入手しづらい時期が続き、みんなが待ち望んだ御笠の新米。「待ってたよ」「今年もありがとうね」。訪れた人は農家さんとの会話も楽しんでいました。



お米だけでなく、野菜や加工品の販売も